

《担当者名》全指導教員

【概要】

所属する研究分野以外の研究手法を学ぶことにより、専門領域にとらわれない広い研究視野を修得するとともに、自らの課題研究に応用する能力の修得を目指す。

【学修目標】

- ・ 専門分野以外の研究分野における研究手法を説明できる。
- ・ 異なる研究分野における研究手法を、専門分野の課題研究に応用できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1 } 15	総合講義	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生物活性天然物の生物有機化学的研究手法の修得 ・ 生理活性物質の構造解析法の修得 ・ 生薬成分の単離と分析法の修得 ・ 生体内微量成分の超高感度測定法の修得 ・ 放射性プローブを用いる分子イメージングの修得 ・ 酵素活性解析法の修得 ・ 遺伝子機能評価法の修得 ・ ウイルスの遺伝子変異解析法の修得 ・ 食品成分の単離法と機能評価法の修得 ・ 培養がん細胞を用いた抗腫瘍効果分析法の修得 ・ 培養細胞を用いた薬効解析法の修得 ・ 電気生理学的手法による生体機能解析技術の修得 ・ 動物モデルや培養細胞を用いた病態診断・解析法の修得 ・ 薬物の体内動態解析法の修得 ・ 薬剤の有効性・安全性の評価法の修得 ・ 種々製剤の試作と評価法の修得 ・ 薬物血中濃度モニタリング技術の修得 ・ 薬物療法における医薬品適正使用の修得 上記のうち、所属する研究分野以外の研究手法	全指導教員

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

課題レポート（100%）により評価する。

【教科書】

各指導教員の指定する書籍など

【参考書】

各指導教員の指定する論文など

【学修の準備】

各指導教員の指導による。